



こんにちは

白子の議会

です

第107号

平成25年2月1日

編集発行

千葉県白子町議会

☎ 0475(33)2169



新ホールでの豆まき会（南白亀保育所）

第4回定例会

平成24年第4回定例会が12月13日開催されました。
一般質問は、6名の議員が町政をただしました。

6議員が一般質問	2～6ページ
決算報告・補正予算質疑応答	7ページ
こんなことが決まりました	8ページ

一般質問

町政をきく

予算編成について

宗島理仁議員

議員 平成25年度予算編成における町長の基本施政、及び重点施策について伺います。

最小限の経費で最大限の効果を

町長 限られた財源を有効に活用するため、十分に検討し、最小限の経費で最大の効果を目標に進めていきます。

その中で、防災対策の推進、産業・観光の振興、教育の振興の3つの柱を中心に進めていきたいと思えます。

避難訓練について

議員 10月28日に行われた津波避難訓練における成果と反省点等の総括について伺います。



確かな学力を

教育長 町内各学校では、年間指導計画を作成し、目標に対する現在の学習状況をABCで評価し、学習目標に到達していればA、Bとなります。

前期の終了時の到達評価は、小学校全体で98%、中学校では91%という結果であります。このうち小学校での算数は94%、理科は97%、中学校では、数学は82%、理科は87%であり、他の教科に比べて数学、理科の到達度が低い状況であります。

底上げ向上に向けた取り組みとしては、基礎・基本の反復学習の時間の確保、授業における個別指導、期間指導等の時間の確保を行っています。

教育環境の整備について

議員 新学習指導要領においては、教員の質の向

上はもとより、家庭教育の重要性、地域社会との連携による教育環境の整備が重要であるとされているが、具体的にどのような施策を行っているか伺います。

開かれた学校づくりを目指し

教育長 町教育委員会としては、15年以下の教職経験者を対象として研修を年4回開催しています。家庭教育としては、9年間を系統的に見直し、培いたい学習習慣や生活習慣の目安をまとめた白子町小・中連携プラン学習習慣表、生活習慣表を昨年度末に作成、保護者に配布し、教育の理解を促しております。

さらに、開かれた学校づくりへの情報発信として、授業参観期間の拡大や各種便りの発行により、学校での教育活動について情報提供を行っております。



教育施策について

議員 新学習指導要領が小・中学校で本格的に導入された中で、生徒の学習到達度はどの程度であるか、また、底上げ・向上に向けての具体的な取り組みについて伺います。



白子町第4次総合計画について

大多和正之議員

議員 白子町第4次総合計画の基本構想は前期として20年度から24年度を目標年度としているが今年度までの進捗状況を伺います。

次に第4次総合計画で平成29年度の人口目標を13,000人としているが、今後人口目標の下方修正を行うのか又、新規の定住策、人口受け入れ策があるか伺います。



第4次総合計画

目標は変えずに

町長 基本構想制定以降の変化の第1位に、全国的に人口減少があります。白子町も人口の減少傾向にあります。その中で求められているのは、生活の質を充実させることとあります。自治の中では地方分権、地域主権



定住者が待たれる奨励用地

の流れが高まっております。まちづくりの方向性は地域の特性を生かして自主的に進めます。白子町の後期計画では、住民の生活ニーズ、地域資源を見つめ直し、定住人口の減少に歯止めをかけ、交流人口の増加を図ります。「笑顔・創意・夢のあるまち」はかわりませんが、誇りを持って住める町を目標としていと思っております。人口の目標は変えずに、13,000人を目指します。

直売所の建設について

板倉正道議員

議員 白子町も近年大型店舗の進出により閉店を余儀なくされた商店、又レジャーの多様化や景気の低迷による夏場の海水浴客の減少、あるいは集客の落ち込んでいるホテル産業、農産物においても市場流通から直接消費者が手にできる直売所が増えているのが現状です。それらを精査し、町の活性化に結びつける為にも直売所の建設は必要と思いますが、行政はどの様に取り組む考えなのか伺います。

町の活性化に寄与できる様に

町長 直売所建設構想は過去に県道一宮飯岡線のどこかということ議論をして来ましたが、用地確保の問題等で頓挫した経緯があります。その後、道の駅等の話題も出て議論を進めて来ましたが建設の方向が定まらないうちに結論に達してありません。再度方向性を見つけたら、担当課に指示しました。

又、6月よりゼロベースで必要性を追及しつつ意見交換を始めてもらいました。

建設目的を明確に

議員 6月より4回の意見交換がありました。内容については、1回目は農産物、海産物、土産物、加工品、観光案内所は白子町をPRする上には必要だとの意見、土地の確保と運営母体の提起がされました。

2回目、建設賛成を受けて出店者、生産者がどれ位いるのかアンケートの集約を踏まえ、同時に意識の高揚を図ることが大事、直売所でも道の駅でも作ってよかつたと言われる様な施設に。3回目、予定地も運営母体も決っていないが建設に向かつては前向きに、



場所と経営母体が鍵

町長 場所の問題と経営母体がネックですので、今後、建設に向けて議論を煮詰めて行きます。

場所の選定は中里海岸入り口交差点付近、白子インター周辺、中里桜祭り駐車場の3か所、運営母体は長生産直、ホテル組合、支配人制の3点の提示がありました。4回目、場所の選定と規模の提示がない限り前進が無いとの意見がありました。4回の意見を集約すると経営が成り立ち町民が潤う直売所が必要との結論ですが見解を伺います。



町内の直売所

平成24年度 白子町施政方針について

東海林東治議員

議員 第4次総合計画も4年が経過しましたが、計画通り遂行したか伺います。

前期計画は概ね計画どおり遂行

町長 第4次総合計画の進捗の状況は、当初の計画どおり概ね遂行してきたと思います。

防災対策、防災施設整備の充実の実施は

議員 津波防災対策、自主防災の推進は、どの程度進んでいるのか伺います。

さらに、津波防災における基礎調査を明確にし、防災に関しては、概略的なマニュアルが必要だと思いが、見解を伺います。

各事業別に計画的に進める防災事業

町長 今年度を実施した

防災対策は各小中学校の耐震補強工事は完了し、又、白潟小に屋上への避難階段を設置しました。南白亀小は今年度中に実施します。

又、南日当橋に通ずる町道の拡幅と橋の架け替えに着手しました。

さらに、茂原白子バイパスをサッカー場まで完成させ避難道路とし、津波対策としては、九十九里浜60キロに6メートルの土塁工事が進んでおります。

今後は、ライフジャケット、避難誘導表示板の設置、防災対策の講演会を開催していきます。

自主防災組織に関しては災害の内容を整理し、マニュアルを配布していきます。

観光支援と美しいまちづくりを

議員 白子温泉はヨード

を含む美肌の湯であり、貴重な海のある温泉地であります。

スポーツ振興を含む積極的な広報活動と各都市の行政との振興締結が必要だと思いが見解を伺います。

又、休耕地・放棄地を若者への農業振興と就業促進対策として推進を図る考えはあるか伺います。

時代の先を見つめ種をまく観光へ

町長 震災以降、観光客は今でも下降傾向であります。

今後は話題性のある木更津アウトレット等にもPRしていきたいと思っております。

又、遊休農地の活用は過去に失敗しましたが、今後は民間の力を借り、各種施設にアプローチしていきます。

健康を実感できる環境整備の必要は

議員 各種健診でそのデータを元に積極的な受診

勧奨と検診計画、訪問健康指導の検討を行っているか。

又、アクア健康センターの開放を検討しているか伺います。

受診率向上と充実した介護予防を

町長 現在、各種検診の充実と健康づくり教室を開催しています。

アクア健康センターの活用は現在、打開策を模索しております。



健康体操をする皆さん

高齢者に対する生活環境、買い物難民対策は

議員 昨今、高齢者への運転免許証の自主返還を

促しているが、地元商店のシャッター化が進み、徒歩圏内に食料品店がない地域が存在します。

そのような中で、高齢者は、身体的、経済的、精神的な労苦を伴っております。

買い物難民の解消をすることは、単に食料品を供給するだけでなく、高齢者の安否確認や福祉対策事業に繋がると思っています。

買い物難民対策をどのように対処するのか見解を伺います。

重要な問題で各種対策を

町長 白子町は、65歳以上の割合が31・9%であり、重要な問題と考えております。

今後、調査をして、商工会、小売商店とも協議し、検討していきます。

又、宅配だけを考えるのではなく、可能な限り外へ出る事が大事であり、公共交通のあり方や、福祉タクシー券の配布を検討しております。

自治会活動に期待、要望の中、町の対応は

梅澤哲夫議員

議員 震災後防災対策の一部として、自治会活動に対する期待が取り上げられている。行政の目標とする住民の生活上福祉の充実とあるが、昨年1年間で新たに、防災活動に取り組んだ自治区はいくつあったかお伺いします。

自分達の町の考えで

町長 各方面で防災について自助・共助・公助が言われ住民の連携が求められている、この1年間で新たに防災組織の立上げは1自治区であり検討中のところもある。今現在32自治区の内12で取り組んでいます。



農地・水の保全管理について

議員 本年より南白亀・日当・福島地区に続き関の残り全区がこの事業の対象となりました。自治区により事業内容の進行に差異がみられるが内容はすばらしいものと思えるので事業の徹底についてお伺いします。



保安全管理を待つ排水路

地域のつながり強まる

町長 農地・水保全管理支払交付金は、平成19年より国の施策として制度化されたものであり、農業者のみでなく地域住民が一緒に取り組んでいけるものであり農業の資源保全、あるいは景観維持の上で大きな役割がある。費用負担は、国が2分1、県・町が4分1ずつで10アール当り水田4,400円、畑2,800円が計上されており引き続き支援していきます。

消防団に期待する中で

議員 団員の少数化地域外勤務者の多い中でOB団員の援助活動は出来ないのか、附帯設備の把握老朽化設備の管理運営についてお伺いします。

団員不足である

町長 若い人達の地区外

就労勤務時間等の都合でいざという時の不安もあり、OB団員の活用については考えた事もあったが難しい課題があり見送られている。また附帯設備については日常の管理は地元の消防団で、町としては設置場所等は図面にて記録しています。古い設備の扱いについては町と協議してほしい。



消防団の消防庫

自治会活動の活性化にむけて

議員 行政に対する需要は膨大なものとなりこれに対し真に必要な行政対応と住民の自助努力の相互協力により当面の課題にあたらなければならぬ

い。町の十分なる施策と共に住民自らの役割もあると思われれます。自治会活動で個々の仕事を抱え、地区年中行事、町からの回覧の配布等経済不況の中、頑張ってる役員関係者に町としての考えをお伺いします。

自治区とのパイプを太く

町長 15年前からスタートした「ひまわりメール」最近の「ひまわりレポ」の2制度により対応しており、若い職員の自治区との交流情報収集と、地域と行政とのニーズ・要望、情報の伝達を的確にするため管理職の対応で行っています。今後、地区リーダーの研修会も考えています。他に、施策の出前講座に取り組んでいるが利用・活用が少ない現状です。



国民健康保険税の引き下げは

市川隆子議員

議員 国保財政が困難になつた要因は、国庫負担の削減です。町でもこの頃から国保税の滞納世帯が増加してきています。今後もしも引き続き国に対して国庫負担を増やすような要望を続けてほしいと思っています。

今年度の税率引き下げは評価しますが、今後の引き下げについての考え方を伺います。

決算状況を見て

町長 来年度は、決算状況を把握した中で、国保運営協議会で議論して結論を出したいと思っています。

滞納世帯の実態は

議員 国保加入者は所得なしや低所得者世帯が中心であるにもかかわらず必要な医療費を加入者に割り振る仕組みであり、滞納せざるを得ない加入

者が出てしまう構造になつていきます。

町の滞納世帯の実態を伺います。

また、滞納した場合の14・6%という延滞金について減額、免除は考えないのか伺います。

所得200万円以下403世帯

町長 所得200万円以下が403世帯で、それ以上が51世帯です。

延滞金の減免は、本税と合わせての減免はしていません。法に基づいての減免はする場合もあります。

重度障がい者医療費窓口無料を

議員 重度障がいを持つ方は、さまざまな理由で病院への定期的な通院が必要になり、経済的な負担にもなつていきます。現在は償還払いになつて

いますが、これが負担になつていく方もいます。

窓口無料化により安心して医療が受けられるようにすべきではないかと思ひますが見解を伺ひます。

県下一斉が望ましい

町長 町民が白子の医療機関だけを受診するとは限らないので、実施するとすれば県下一斉にやるのが求められると考えています。

就学援助制度年度途中での申請は

議員 就学援助制度は国の補助金が削減され、準要保護世帯へは用途を限定しない交付金として一般財源化されました。準要保護申請は、町で

定めた適用基準があると思ひますが、子どもに差別感を与えないためにも制度を活用する必要がありと思ひます。

さらに年度途中でも申請できればより利用しやすくなると思ひますが、可能なのか伺ひます。

年度途中でも可能

町長 保護者からの申請があり、要件を満たした場合には申請のあつた翌月から援助の対象となります。

3項目への対応は

議員 文部科学省は新たにクラブ活動費、PTA会費、学級会（生徒会）費の3項目を準要保護児童、生徒にも拡大して一



白子中の武道館

般財源化したということですが。

町ではこれについてどのような対応をしているのか伺ひます。

今後の検討課題

町長 今は、やっていません。困難な状況もありますが、今後の検討課題だと思ひています。

白子中 武道の選択は

議員 新学習指導要領では、中学校で武道を選択するようになったと思ひますが、何を選択したのか、個人負担はあるのか伺ひます。

柔道を選択

町長 白子中では柔道を選択しています。学校で用意した柔道着を使つているので費用の負担はありません。



平成23年度 決算審査特別委員会 審査結果報告

委員長 河野 豊

◎9月定例会において決算審査を付託された平成23年度各会計は、次のとおり指摘要望事項を付して原案のとおり賛成多数により認定することと決定されました。

審査の対象

平成23年度一般会計外5特別会計決算

審査の方法

予定された事務事業等が計画どおり執行されたかまた、効果等について審査を行いました。

指摘要望事項

(一) 一般会計

一、災害時を見据えて水・食糧・燃料などの防災必需品の民間事業者との購入提携と併せて、備蓄物品の保管場所の維持管理を徹底することを要望する。

一、町と自治会の連携を更に強化することを望む。
一、活性化推進事業に対し適正な予算の充実を求め。

一、収納率向上対策として新たにコンビニ収納を始め好評であるが今後、

更に進み、公共料金対応のカード収納の検討を願いたい。

一、シルバー人材センターの人材活用を積極的に推進する一方、事故防止対策、災害後の給付内容などの充実を図り、運営上の事業内容の改善を要望する。

一、環境行政上、以下の検討、改善を求める。

可燃物集積置場の散乱防止対策として、町内同一形式の検討を願いたい。
南白亀川を始め町内中小河川の水质検査方法の改善を求める。有害鳥獣駆除の効率的な方法への改善を求める。ゴミ処理の分別方法細分化を進め、経費削減の促進を望む。

一、農業政策の一環からの農機具の器具の購入助

成及び貸出についてはより多くの人が利用できるような体制づくりになるよう要望する。

一、読書離れの中で、IT機器としてのタブレット等を導入し、学校図書整備が充実されることを要望する。

一、改築予定の給食センターについて、更に進む少子・高齢化の中で将来を見据えて再考したテーマを持った事業の建設を検討されたい。

次に(特別会計)

一、国民健康保険事業は、収納率向上対策を積極的に進め、特定健診・保健指導の受診率向上に努め、生活習慣病の予防を始める。高額な医療費に繋がる疾病対策に重点を置き、健全な運営をするよう一層の努力をされたい。

一、介護保険事業は、社会全体で支えている介護保険制度の仕組みについて、被保険者により分かり易い説明の検討を要望

する。
一、休養施設事業は、東日本大震災と東電の原発事故により宿泊客の減少対策として指定管理者納付金の免除を実施したが、後の東電の被害賠償補償金の充当分との整合性を図ることを検討されたい。
一、ガス事業は、引き続き安全・安定供給に向けながら効率的な運営を図り、適切な料金体系と顧客増加に繋がる対策、サービスの向上に努められたい。

平成24年度補正予算についての質疑・応答

【北田頼光議員】

津波避難対策事業は

議員 避難道路の誘導表

示設置というのがその方法は。又、直接道路に標示の仕様もあると思うが伺います。

総務課長 東西幹線道路6本を津波避難道路と位置づけ、夜間でも確認出来るよう蛍光塗料を使った誘導表示板を電柱に抱かせる形の表示板ということで御理解願います。

【大多和秀一議員】

ライフジャケットの事前の着用訓練は

議員 ライフジャケットは実際に着用し訓練しないと意味がないのでは又、10月の防災訓練に使用とのことですが時期的に問題はないか。

町長 各学校にてプール等を利用し衣服のまま着用の訓練を行って頂きました。10月の訓練時は寒いとかの意見もあるが、国も9月の防災の日であり一般的に見ても10月前後に開催されています。



こんなことが、決まりました。 定例会 第4回 議案の内容

諮問

人権擁護委員の推薦について提案のとおり、全員賛成で適任者として同意されました。

氏名 **牧野 敬一**
住所 白子町八斗1187番地

氏名 **高山 栄子**
住所 白子町関3886番地5

発議

白子町議会委員会条例の一部改正 地方自治法改正からの見直し改正(可決)
白子町議会会議規則の一部改正 地方自治法改正からの見直し改正(可決)

条例の改正等

千葉縣市町村総合事務組合規約の一部改正協議
大網白里市へ移行のため名称変更の為(可決)
九十九里地域水道企業団規約の一部改正協議
大網白里市へ移行のため名称変更の為(可決)

長生郡市広域市町村圏組合規約の一部改正協議
障害者自立支援法が日常生活及び社会生活を総合的に支援する為の法律に名称変更された為(可決)

白子町議会議政務調査費の交付に関する条例の一部改正 地方自治法の改正に伴い地方議会制度の所要の見直し改正(可決)

白子町税条例の一部を改正 特定非営利活動促進法において仮認定制度が導入され寄付金税額控除の条例の整備の為(可決)

専決・補正予算

専決 平成24年度一般会計第4回補正予算(8,498千円)専決承認 衆議院議員選挙費計上の為(承認) 補正

決算認定

平成24年度一般会計第5回補正予算(54,277千円) 災害対策費としてライフジャケットの配備及び幹線避難道路の避難誘導表示設置他(可決)
平成24年度休養施設事業特別会計第1回補正予算(2,500千円) 備品購入費(可決)

平成24年度ガス事業特別会計第1回補正予算159千円) ガス事業一般管理費他(可決)

平成23年度白子町一般会計歳入歳出決算認定(認定)

平成23年度白子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定(認定)

平成23年度白子町後期高齢者事業特別会計歳入歳出決算認定(認定)

平成23年度白子町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定(認定)

平成23年度白子町休養施設事業特別会計歳入歳出決算認定(認定)
平成23年度白子町ガス事業特別会計歳入歳出決算認定(認定)

町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は3月の予定です。

詳しいことは、議会事務局へ。TEL 33-2169 / FAX 33-4132
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集後記

昨年末に行われました衆議院選挙では、民主党が大敗自民党の勝利でした。政党の乱立、分裂、選挙間近の合併、いろいろ有つて有権者が迷つたと思います。本当に国民の事を考えてくれているのか心配です。権力争いもほどにし、国が栄える為には協力も必要ではないかと思いますが、1年前後の総理大臣では何も出来ずに終わってしまうのでは。安定した長期の政権で将来良くなれば今の財政状況を考え、無駄遣いがなければ、少し位の増税も我慢できるのでは。又、今年も知事・参議院大きな選挙があります。国・県良くして下さいをお願いします。

齊藤 豊彦

